



しろね図書館だより

No. 137

~ Since 2000 ~

発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
平成23年10月発行

白根図書館主催事業

近藤信子さんといっしょに わらべうたであそぼう!

◆日時 平成23年11月13日(日)

●第1部 親子のわらべうたの会

午後1時~1時40分

3歳~5歳くらいの親子 30組(60人)

●第2部 一般向け講演・わらべうたの会

午後1時50分~3時

一般40人(お子様はご遠慮ください)

◆参加費: 無料

◆会場: 白根学習館2階ルーム1,2

◆申込先: 白根図書館 電話 025-372-5510

FAX 025-372-5540

受付開始: 10月16日(日)10時から

図書館カウンターで直接申し込みもできます。

近藤信子 さん
こんどう のぶこ

1944年、新潟県長岡市に生まれる。
茨城県つくば市で音楽教室「とんとんやかた」を主宰。わらべうたを中心にした音楽教育を行なっている。
著書に『みんなであそぶわらべうた』『にほんのわらべうた』全4巻
(共に福音館書店)

しろね図書館 わくわくスタンプラリー 11/5(土) 10:00~15:30
学習館交流広場・図書館

どなたもお気軽にご参加ください。 絵本にでてくるおやつ作り

おやつ作りは
事前に申込が必要です
申込受付10/9(日)10時~

しおり作り

簡単ミニ絵本作り

本を借りる

図書館なんでもクイズ

たのしいおはなしのじかん

絵本の読みかたり (14:10~14:30)

おはなし会 (14:30~15:00)

1つ参加するごとにスタンプ1個
7つのうち3つ以上
参加した人にはプレゼントがあります。
詳しくはチラシをご確認ください。

11/5(土)10時~12時

夕ヤクのアチアチ

場所: 学習館2階食工房
定員: 16名(小学生)

参加費: 300円

当日参加費、エプロン、ハンカチなどお持ちください。



第131回読書会

読書会は、みんなで同じ本を読んで、思ったことをおしゃべりする楽しい集まりです。

平成23年9月18日(日) 午後2時

闇彦

【参加者】6名

阿刀田 高作

(新潮社)



幼い頃より「私の傍らに感じられる謎の存在「闇彦」。
様々な出会いと突然の別れ、自身のストーリーへの深い愛着、神話に現れる「見返り」のテーマ、それらを通じて「闇彦」の核心へと迫ります。
作者が少年期を過ごした新潟の描写も豊富です。

★★ 参加者の感想から ★★

- ◆新潟のいろいろな土地がでてきて、自分でもわかる場所があるので、イメージがわきやすかった。
- ◆この作品は、著者の自伝的な小説なのだろうか。そういう雰囲気がある。
- ◆先月、とある大会でこの著者の講演を聴いた。戦争のときに新潟にきて、しばらく暮らしていたそう。戦争が終わってからも住んでいたそう。講演会が面白かったので今回の本を読んでみようと思った。
- ◆講演会で聴いたのだが、この本を書くために弥彦山へ登り、そのとき稲と海の波がきれいだったそう。男女のことも書いたこの本を、お年を召したこの著者が書いたのかと驚いた。
- ◆色っぽいとか艶があつて、けれど人間的にも距離感があつて、風が通り過ぎるような…さわやかに読めた。
- ◆この本を読んで、色で例えるならパステル調だと思った。カーキっぽい、グリーンが混ざったような良い感じがする。

- ◆この作品でドラマを作るなら主役は渡辺謙で。リップ・サービス、ベター・ハーフなど、描写の言葉使いが文学的だった。
- ◆にじみ出るような優しさがあふれていて大変良かった。
- ◆身近に双子がいるので、出だしから惹きつけられた。
- ◆最近ギリシヤ神話を読んだが、おはなしの面白さを知らずに育つのはもったいない。ギリシヤ神話とダブらせながら読んだので面白かった。
- ◆阿賀野川とか、「あの辺かな」とか想像した。新潟の人はぜひ読んで欲しい。
- ◆本の帯では特に新潟に触れていないのがさみしい。
- ◆この著者が「ナポレオン狂」で直木賞を受賞したときに読んだ。こんな上手い書き方があるのか、と思った。
- ◆丁寧に書いている。無駄が無い。文章力にすぐれている。端正な文章を書くタイプ。
- ◆読んでみて、あんまり意味のある作品じゃないなと思った。ほんとは弥彦は関わりがないのでは。ストーリーに使うためのもの？
- ◆となりの部屋に女の人が壁越しに話を聞かせる…ここが一番怖かった。ほんとにあつたかのように書く、すごい。構成力というか、この一点にすぐくひかれた。
- ◆いろんな作家の名前がでてくる。全部は知らないけど…。
- ◆昔の人を思い出すことが物語。
- ◆最近、ギリシヤ神話と古事記のパターンがそっくりなんだと聞いたばかりだったので、この本でもできて驚いた。
- ◆遠く離れた国でも同じような話がある。
- ◆読みやすかった。あつという間に読めた。
- ◆新潟の宣伝のような、嬉しい小説。
- ◆弥彦の場面は大好き。阿刀田さんも感動されたんだというのが作品を読んでいてわかった。(内山)

次回の読書会 10月16日(日) 14:00~



私がこの世でいちばん好きな場所は台所だと思ふ



キッチン

吉本ばなな著 福武書店 他

唯一の肉親であった祖母を亡くしたみかげは祖母と仲の良かった雄一とその母(実は…)の家に突然同居することになった。日々の暮らしの中、何気ない二人の優しさのみかげは孤独な心を和ませていくのだが…。国境も時もこえて読みつがれるロングベストセラー小説。

図書館員が
おすすめする
この一冊
三宮由佳

王への手紙 上・下

トンケ・ドラフト作 西村由美訳 岩波書店

作者トンケ・ドラフトが描いた表紙絵を見たとき、あなたは
この物語にどんな印象を持つでしょうか？ 格好いい？ 難し
そう？ 美しい？

16歳の見習い騎士ティウリの手に汗握る冒険物語は、19
62年にオランダで出版されました。50年近く経った今も、
ティウリの物語は全く色あせることはありません。秋の夜長に
ティウリと一緒に冒険の旅に出てみませんか。



その機会は4年に1度だけやってきます。騎士となるにふさわしいと認められた若者たち
が、王によって正式に騎士として叙される日。物語はその前夜から始まります。

その夜ティウリは、小さな礼拝堂にいました。24時間断食をすること、小さな礼拝堂で
一晚眠らず誰とも口をきかずに過ごすこと、それが騎士となる若者への最後の試練だからで
す。たった一晚、この一晚の試練が終われば、華々しく騎士になれるというのに、礼拝堂の
外からは助けを求める男の声が聞こえてきます。その声に応じてしまえば騎士になることは
出来ませんが、ティウリにはその声を無視することも出来ませんでした。礼拝堂の扉を開い
たティウリに見知らぬ男は1通の手紙を託します。それは国の将来を左右するほど重要な手
紙であり、ここから続く長い冒険の始まりを告げるものでした。

実はこの物語の舞台となるダホナウト国や騎士について説明した序章を読み始めた時は、
読みづらく堅い冒険物語という印象を抱きました。けれども、第1章でティウリが手紙を託
されてからは、ティウリの冒険に惹きこまれ、あっという間に読み進めてしまいました。

2004年には、勇敢な見習い騎士ティウリの物語が、過去50年間にオランダで出版さ
れた児童書の中から第1位に選ばれました。児童書といっても、読み終えた後、大人も十分
満足できる物語です。続編の『白い盾の少年騎士』も合わせておすすめします。

暮らしの中に本を - 図書館をもっと身近に

南区の図書館・図書室

- ◆月潟図書館 ☎025-375-3001
休館日：毎週月曜、
毎月第1水曜、祝日
えほんのへや(絵本の読み語り)
毎週土曜午前10時30分～
- ◆味方図書室(味方出張所内)
☎025-373-4788

お気軽にご利用ください。

この秋、オンライン館が増えました!

蔵書検索や本の取り寄せがますます便利になります。

お近くにいらっしゃいましたら、ぜひお立ち寄りください。

- ◆巻図書館 西蒲区巻甲(巻税務署隣) ☎0256-73-5066 9/1開館
- ◆東区プラザ図書室(新・東区役所3階) ☎025-250-2970 9/20開室
- ◆アルザにいがた情報図書室(中央区 万代市民会館3階)
☎025-246-7713 10/6～オンライン化

開館時間や休館日など、詳しくは各館にお問い合わせください。

子どもたちといっしょに

エンリくんきしゃにのる

ある日曜日のことでした。

お母さんといっしょに来館した男の子(2歳になる前くらいでしょうか)は、ワーと泣いて、乗り物の本のコーナーに突進して行きました。

どうしたのかと見に行くと、大好きな新幹線の本をお母さんが返してしまったので、怒って泣いたとのこと。

しばらくして、別の新幹線の本を借りて、満足そうに帰って行きました。

自分の意思がはっきりしていることにびっくりしました。乗り物の本がどこにあるのかも、ちゃんとわかっていることにも、びっくりしました。

次はこんな絵本はいかがでしょうか!? (安東)



スズキ コージ さく
福音館書店



阿川 弘之 文
岡部 冬彦 絵
岩波書店



バーニア・リー・パートン
ぶん・え
むらおか はなこ
やく
福音館書店



西村 繁男 さく
福音館書店



今月の展示架

■ 展示期間 10/6→11/1

たくさん読ませよう 読書の木

館内の壁面かざり読書の木を好きな本でいっぱいにして!



この期間中、紹介カードを配布します。



閉館時間の一部繰上げを終了、図書館の閉館時間は通常通りとなります。

市立図書館は、節電対策として一部午後5時に繰上げ閉館していましたが、9月10日以降は通常の閉館時間となりました。ご不便をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました。今後も、照明や暖房などの面で節電につとめてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

* 白根図書館の開館時間は次の通りです。ご利用ください。

月～木、土 午前10時～午後7時

日、祝日 午前10時～午後5時

休館日：毎週金曜日、毎月第1水曜日、年末年始、蔵書点検期間

11/2 までの行事

おはなしのじかん
毎週土曜日

絵本のおよみかたり 14:10～
ストーリーテリング 14:30～

10月15日(土)

南区読み聞かせボランティア交流会
(白根学習館) 14:00～

10月22日(土)

読み聞かせ講習会① 13:30～

10月25日(火)

雑誌リサイクル 10:00～

おはなしかご例会
(読み聞かせボランティア)
第24土曜日

10/8 (ル-41) 10:00～
10/22 (ル-42) 10:00～

10月16日(日)

読書会(ル-43) 14:00～

11月2日(水) 図書整理日
(図書館はお休みです)

ブックスタート(南区)
1歳誕生歯科健診会場

10月のブックバス



★11月2日までの予定を載せています。

★-/- は運休です。

コース	学校	停車時間	巡回日
月A	庄瀬小学校	12:55～13:25	10/19(振替)
火A	大通小学校	13:00～13:30	-/- 10/25
水A	白井小学校	13:00～13:30	10/12 10/26
木A	新飯田小学校	10:10～10:35	10/13 10/27
	味方小学校	12:55～13:35	-/- 10/27
月B	根岸小学校	児童限定	10/3 10/17 10/31
火B	小林小学校	児童限定	10/4 10/18 11/1
	白根小学校	13:10～13:30	10/4 10/18 11/1
木B	茨曾根小学校	10:15～10:35	10/6 10/20
	大鷲小学校	児童限定	10/6 10/20

9月の来館者数…………… 16,059 人

